

## 「出水中学校の戦跡巡りの取組」

1. 学校名	出水市立出水中学校
2. 学年・人数	2年生 215人
3. 日時・場所	(1) 学習会の日時・場所 令和7年9月19日 講話 令和7年9月26日 戦跡巡り (2) 発表の日時・場所 令和7年10月31日 文化発表会において劇やポスター発表
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	(1) 名称 旧出水海軍航空隊跡地（いずれも昭和初期） ア 戦闘指揮所地下壕（せんとうしきじょちかごう） イ 気象観測所（きしょうかんそくじょ） ウ 掩体壕（えんたいごう） (2) 特徴等 ア 昭和12年から飛行場等の建設が始まり、昭和15年に完成。空襲を避けるため、作戦施設は地下に設置。通信施設を設けた戦闘の指揮所として利用された。中に入ることができる県内唯一の地下壕である。 イ 航空隊の設置当初は、無線通信所として使用されていたが、作戦部隊の基地として位置付けられた後は、気象観測所として利用された。 ウ 敵の空襲から飛行機を守るために作られたコンクリート製の施設。本市に残る3つの掩体壕は、アーチ型の天蓋がある有蓋掩体壕である。
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	「出水市平和学習ガイドの会」の全面的なバックアップにより実施している。オリエンテーションから、実際の戦跡を見ながらの解説、戦跡巡りの後のまとめまで、専門家のサポートを受けながら学習している。平和の尊さやかけがえのない命について考える機会になるとともに、平和なふるさとづくりに努める心情の醸成につながっている。
6. 取組の様子（研究発表等）	 <p>「掩体壕」建設の体験</p>  <p>地下壕内での学習</p>
7. 感想・意見（参加生徒）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に印象に残ったのは地下戦闘指揮所での話だった。私は今回を含め2度、中に入ったことがあった。1回目の時は気付かなかったが、入口にあった弾丸の跡を見て戦争があった事実を目の当たりにし、改めて戦争がここ出水の地であったと実感できた。</li> <li>・ 今まで自分たちの住んでいる出水で、昔戦争があったという実感があまりなかったが、今回、戦跡を巡り、平和の大切さを知ることができ、また出水で戦争があったことを実感することができたので、戦争を自分事として考えることができた。</li> <li>・ 今回は普段あまり行かない場所だからこそ、とてもいい経験になったし、とてもいい学習になった。今ではこんなに平和な出水でも、かつてはたくさんの人々の命が奪われる悲しいことがあったのだと思うと胸が痛む。</li> </ul>